

日韓音楽(教育)関係史研究

1. 植民地期朝鮮における音楽教育と日本人音楽家の活動
2. 韓国の教育課程と教科書
3. 日本における韓国音楽の教材化

研究概要

山陰の音楽文化の教材化

1. 鳥取童謡おもちゃ館「わらべ館」での童謡・唱歌の普及啓発活動
2. 山陰の伝統音楽研究(ex.『島根の民謡』)
3. 山陰にゆかりのある音楽家の研究

音楽科教育・音楽学の授業担当と研究



高木東六 (1904-2006) 研究

1904年 米子生まれ(4歳迄)
父:ハリストス正教会・伝道師
米子→岡山→茨城→横浜→
東京→伊那→横浜

- 東京音楽学校時代(卒業前に退学)
- パリ留学時代(1929-1932)**
- 気鋭のピアニスト, 作曲家として活躍
- フランス音楽紹介, 教則本などの出版
- 朝鮮の音楽への関心: 歌劇「春香」
- 文筆活動, 芸能活動→マルチタレント, 大衆的な作曲家の草分け
- 高齢者の女声合唱団を結成し活動
- 晩年, 長寿と健康をテーマに講演, 演奏活動

- 研究成果の社会への還元
- 歌劇「春香」上演への資料提供(横浜, 鳥取, 米子他)
 - 100歳記念コンサート(2004年米子人生大学)
 - 追悼コンサート(2006年鳥取わらべ館)
 - 講演(2007年鳥取大, 2009年米子市立図書館, 2011年横浜)
 - 企画展「ふるさとの音楽家・高木東六」監修(2011年, 米子市立山陰歴史館)

サバティカル
研修(パリ)
2012年7月